

草津市行政経営改革推進本部会議幹事会(R3.4.20)での意見と対応

No.	意見等	対応
■ ビジネスチャットの活用について		
1	効果測定指標「時間外勤務数」は、他の要因で時間外勤務数の変動が考えられるので、実際に使用してみて業務改善につながったかどうか、職員アンケートで意見を汲み上げる方がいいのではないか。	検証の指標は、「複合機の使用料」を設定し、検証期間の終了時に職員アンケートを実施する。
2	資料1手引き(案)の目的について、課題と目的が繋がっていない。	以下のとおり修正。 限られた時間の中で多様化する行政課題や新型コロナウイルス感染症対策などに対応し、適切な行政サービスを提供していくためには、必要なコミュニケーションの維持・効率化が必要です。 また、草津市全体で複合機を年間約1,900万回以上使用しているなど、全庁的なペーパーレスの推進に取り組むことが必要です。 本手引きは、新たなコミュニケーションツールであるビジネスチャットの「利用上の決まりごと」や「活用事例」を示すことで「 <u>コミュニケーション維持・効率化</u> 」、「 <u>ペーパーレスの推進</u> 」を目的に作成したものです。
3	資料4セキュリティ実施手順の記載が専門用語や横文字が多いので、職員が理解しやすいようにしてほしい。	最終ページに用語解説を追記する。